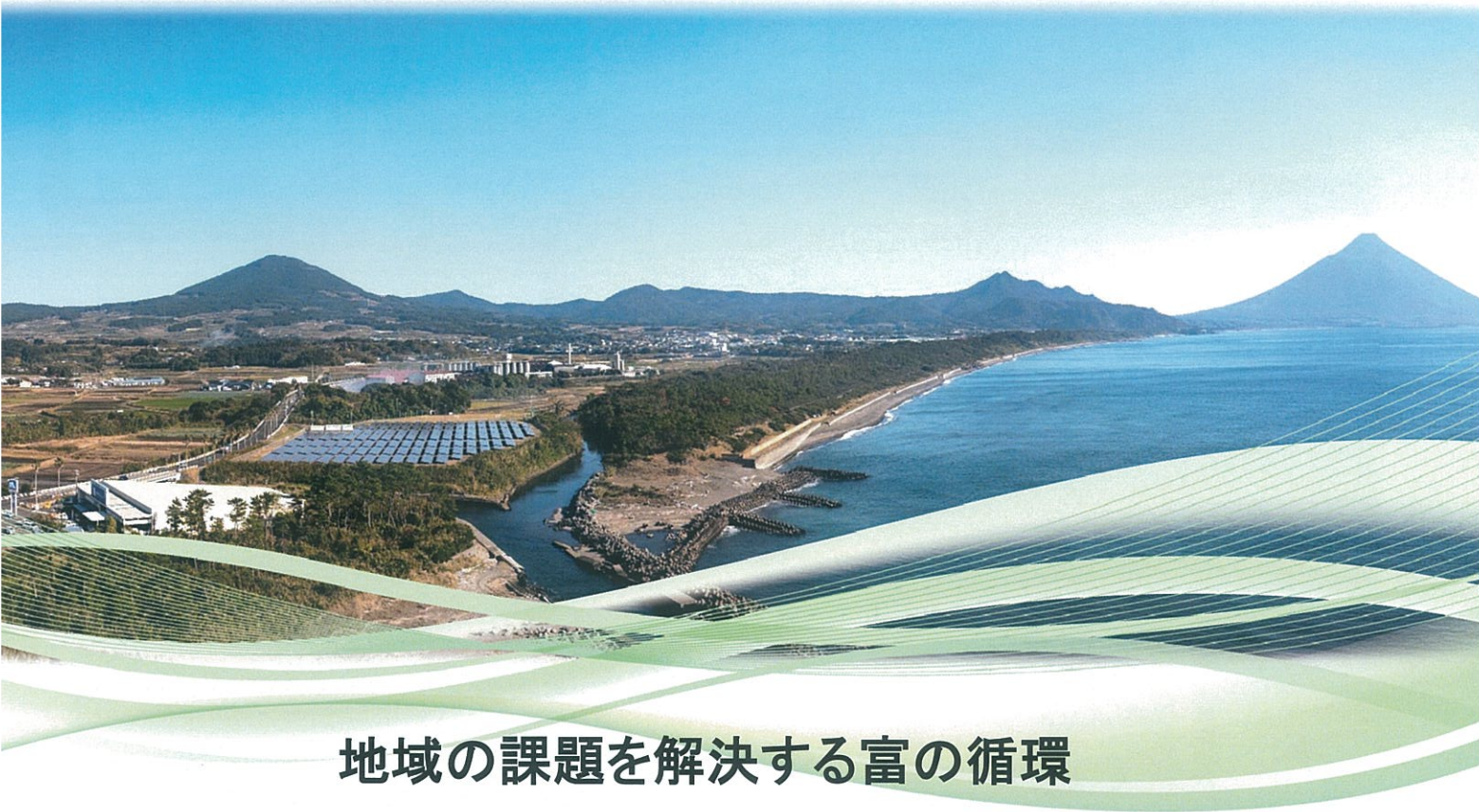


御領未来づくり10年計画



地域の課題を解決する富の循環

南九州市 御領地区公民館

もくじ

もくじ

はじめに
1ページ

夢広がる
御領アグリクラブ構想
2ページ

御領の
新たな
コミュニティ
3ページ

つくって
かせぐ
4・5ページ

みんなで
まもる
6ページ

つたえて
つなぐ
7ページ

御領の
よがとごい
マップ
8・9ページ

九玉小6年
10年後の
わたしへ
10・11ページ

ふれあい
ウォーキング
12ページ

SDGs
13ページ

編集後記

はじめに

御領地区は南九州市顚娃町、薩摩半島の最南端に位置し、全国屈指の食糧基地として期待されています。米やお茶をはじめ、さつまいもや施設園芸などの産地で、県内では農業生産額上位にある地区です。

また、海岸線から見る開聞岳は絶景で、風光明媚な地区でもあります。

しかしながら、顚娃町の中心に位置しながらも人口減少と高齢化は年々加速し、このままでは自治会運営等も難しくなってきました。

このようなことから、地区公民館では南九州市が推進している「コミュニティ・プラットフォーム事業」を受けて、令和3年度に御領未来づくり会議を発足させました。地域から選任されたメンバーで話し合いを進め、地域活性化を推進する『夢ひろがる御領アグリクラブ構想』をまとめることができました。

この構想は、御領の未来を考えるうえで農業抜きには考えられないことから、楽しく集まり楽しく耕作し、楽しく稼ぐことをとおして住民の交流による地域づくりを進めようとするものです。(つくって・かせぐ)

さらに、高齢化がすすむ地域を住民相互に支え合い、御領らしい暮らしを継続していく仕組みを整えることが大切だと考えました。(みんなで・まもる)

また、御領の魅力を地区内外に発信し、御領に住みたい・御領で活動したいという人々を増やしていくことを考えています。(つたえて・つなぐ)

この御領未来づくり10年計画の実現に向けて取り組むことで、住民が誇りと愛着をもった地域になることを願っています。

令和5年2月

御領地区公民館 館長 鶴田 春行

計画作成までの経過

- R2年8月 コミプラ説明会(自治会長会)
- R3年5月 御領未来づくり準備会議発足
- 6月 第1回御領未来づくり会議
(月1回の定例会議開始)
- 9月 アグリクラブ構想考案
- R4年3月 住民アンケート配布
- 4月 住民アンケート回収・集計
- 5月 住民アンケート分析
- 6月 ゲストワークショップ
(6月から9月の4回実施)
- 10月 公民館運営審議会にて報告
- R5年2月 御領未来づくり10年計画印刷
- 3月 御領未来づくり10年計画配布



コアメンバー

富松	兼治
田畑	金光
利田	正明
上村	健太郎
上村	敏秋
内田	智賀子
坂元	博
高吉	明美
松窪	ゆかり
鶴田	春行

夢が広がる 御領アグリクラブ構想

農業を通じて地域の絆をつくってきた御領地区は、その絆を未来につないでいくことを願っています。人口減少と高齢化によりできないことが増えていく中で、楽しく豊かに暮らす未来計画を「夢が広がる御領アグリクラブ構想」と名付けました。これは地域のアグリ(農業)活動が地域の課題を解決する「経済活動の循環のしくみ」をつくろうとするものです。

この構想は「つくってかせぐ」「みんなでまもる」「つたえてつなぐ」の3つの柱から成り立っています。

アグリ活動のねらい

- ①地域の産業を守り、「つくる」喜びを感じる
- ②協働作業により絆をつくる
- ③持続可能な地域コミュニティのしくみをつくる



クラブの基本的方針

- ①自由参加
- ②楽しみながら活動する
- ③子どもたちや若い世代のアイデアを活かす



つくって かせぐ

地域を元気にするには楽しみが必要です。その楽しみは継続することで膨らんでいきます。継続のために目に見える具体策をつくっていきましょう。それがつくってかせぐ活動なのです。

みんなで まもる

人口減少と共に地域活動は縮小の方向にあります。縮小しつつも楽しく豊かな活動は守っていかなければなりません。互いに助け合いながら良いものは残し、変えるべきものは変えるのです。

つたえて つなぐ

住んでいる人は御領の良さを知っていても、それを地区外の人々にも伝えなければ活動は広がりません。御領に思いを寄せる関係人口を増やし、一緒に活動を広げていきたいのです。

御領の新たなコミュニティ

ボランティアも



施設も

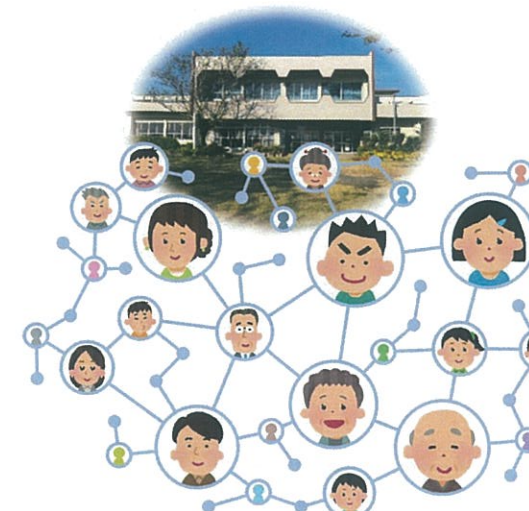


お寺も

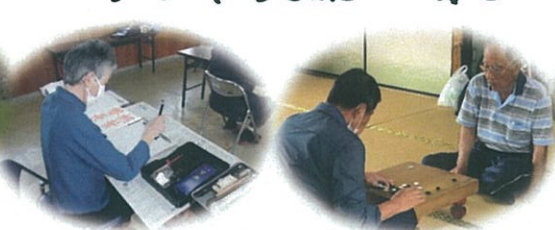


自治会だけでなく企業や施設、自然や歴史など様々な地域素材を連携させることで、新たなコミュニティができあがります。

農業を基盤に御領の人々のつながりを深めていきながら、心豊かな地域を育てていきましょう。



学びや交流の場も



神話も



開聞宮におられた天智天皇・大宮姫夫妻があるとき、**御領村**の安東実重中將を訪ねられた。(安東中將は天智天皇の侍臣で、その子孫は開聞宮四家の一社人となったという。紀家であろう。)その接待のため安東中將は新しく御炊殿を設けて、火の神とカマドの神を勧請し、何十石という米を蒸しているとき、一陣の**怪風**が吹き、その釜蓋を吹き飛ばした。その蓋は怪風に誘われて舞い上がり、はるか彼方の大川の浦に落下した。土地の人々はこの釜蓋を拾い上げてこれを神として祀り、名付けて釜蓋大明神といった。これが**釜蓋神社**の起りといわれる。(出典: 頤娃町郷土誌改訂版)

企業も



郵便局も



鉄道も



昔は浜競馬をやっていた美しい馬渡海岸も



つくって かせぐ

御領の自然を
活かして育てよう



もち米・そば耕作チーム

5月田植え

A中

8月稲刈り

A中

精米・加工

9月そば植えつけ

B中

もち米・そば加工チーム

おはぎ(ぼたもち) おこわ よもぎ餅
ちまき 玄米もち そばだんご
かからんだんご など

11月そば収穫

C多

- ・無理をせずあるものを使う
- ・できるものからやってみる
- ・加工なしでの販売も行う

もち米・そば販売チーム

- ・市場調査
- ・地区公民館で販売
- ・軽トラマーケット販売
- ・他地区との連携販売
- ・ネット販売
- ・ふるさと納税返礼品



12月加工

A中



広報活動



ささげ加工チーム

缶詰 野菜ジェラート
ささげババロア など

11月選別

C多

- ・地域の特色を活かす
- ・小規模から始める
- ・試食会でアイデアを練る
- ・参加者にポイントを与える
- ・小学校や園との連携
- ・高等学校との連携

ささげの特色

アフリカ原産のマメ科の野菜。あずきより小さめでややくすんだ赤色をしている。煮ても割れにくく食感もしっかりしている。おこわやぜんざいを作るのに最適。

ささげ販売チーム

- ・小学生による販売
- ・道の駅での販売
- ・JR駅での販売



12月加工

A少



菜種油

2月活用

C多

イベント

- ・フォトコンテスト
- ・ヨモギサウナ
- ・収穫祭



耕作放棄地を
花畑にしよう

花畑チーム

- ・協働で耕作放棄地を有効活用する(景観作物)
- ・やりたい人が自由に景観づくりに参加する
- ・仲良しグループや既存の団体に呼びかける
- ・園児に農業の楽しさを伝える

5月耕運

A少

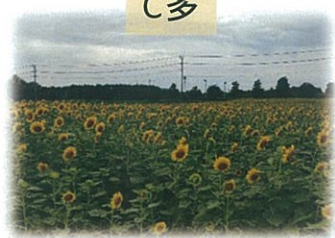
- ・フотスポット
- ・切り花摘み

景観づくり

6月種まき

C多

ひまわり



遊びづくり

8月活用

C多



- ・色水遊び
- ・ちぎり絵
- ・迷路

9月耕運

A少

10月種まき

C多

コスモス

- ・小学校でグリーンカーテンとして栽培する
- ・やりたい人が自由に耕作に参加する
- ・選別作業など忙しい時期にボランティアを募集する
- ・地区外の人材にも広く呼び掛ける(援農ボランティア)
- ・仲良しグループや既存の団体に呼びかける
- ・自由に栽培し、収穫物を買取るしくみをつくる
- ・幼児期から農業の楽しさを感じさせる



作業難易度: A専門的 B一般作業 C軽微作業

必要人数: 少(10人未満) 中(20~30人) 多(30人以上)



地域コミュニティの基本は自治会
その自治会は人々の絆を守るもの
これまでの良い所は残しながら
時代に合わせて 変えるべきは変えていこう

- ・人口減少に伴って「昨年どおり」はやめよう
- ・世代別の参加行事は大きく見直そう
- ・一人ひとりに適した役割をお願いしよう
- ・意見の違いを尊重して、意見が言える場をつくろう
- ・何のためにやるのか「価値」を統一しよう
- ・納得して、やりたい活動に参加できるようにしよう

強制しない
地域づくりは
人々の豊かな絆を
育む



みんなで
まもる

地区内の人材を活かして
支え合うしくみをつくり
地区全体で
自治会を支えていこう

- ・助けてほしい時に気軽に頼めるしくみにしよう
- ・余力がある人ができる時間で支えるしくみにしよう
- ・青少年も参加できるしくみを工夫しよう



御領の自然や
史跡を活かして
豊かな体験を
継承する

自然を守り活かすには
住民の思いと
住民のがんばりが必要
何からは始めるのか
どのように始めるのか

- ・水源地整備・水辺の広場・湧き水マップ
- ・猫城を活かした散策コース・看板設置
- ・毎年やろう・通年でやろう豊かな体験



御領地区外に発信しよう(出身者へ・一般へ)

*** ホームページやSNSで発信 ***

①空き家・農地の情報発信

農業委員会や行政へのつなぎとなる情報
・どこにどのような空き家や農地があるのか
・持ち主はどうしたいと考えているのか など

③アグリ活動の情報発信

住民が取り組む「つくってかせぐ」活動の情報
・今年のアグリ活動の重点は
・何を作ってどう加工するのか
・どこでどのように販売するのか
・空き家や農地を活かしたイベント情報 など

②御領の良さの情報発信

今の御領の豊かな暮らしの情報
・四季の美しい自然
・地区内の楽しい取組
・子どもたちの元気な様子 など



つたえて
つなぐ



御領地区内に発信しよう(全ての住民へ)

*** 公民館だよりなどを充実させて発信 ***

①空き家・農地の情報発信

・空き家や農地の活用方法や担い手の募集情報
・空き家や農地を活かしたイベント情報

②御領の良さの情報発信

・地区公民館や自治会活動の良さ
・御領の個人や団体の情報

③アグリ活動の情報発信

・季節ごと(作業ごと)のボランティアの募集情報
・みんなで取り組む活動情報



御領のよがとごいマップ

南九州市

鹿児島県南九州市 頤娃町御領地区

御領には先人から守り継がれている「よがとごい(いいところ)」が多くあります。地域の五穀豊穡や無病息災など、昔から人々を見守ってくださる像や建造物、豊かな自然などです。ひとつひとつ大切にし、ぜひ巡ってみてください。

①砂鉄の神様



②矢越の虚空蔵菩薩像



③御領駅



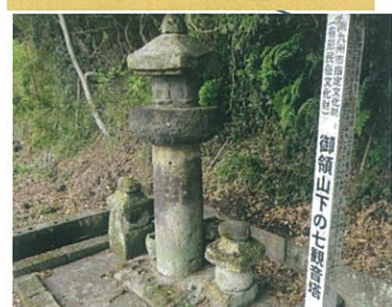
④馬渡の阿蘇宮神社



⑤小長田の延命地蔵尊像



⑥山下の七観音塔



⑬鶴田の上段の滝



⑮御領の水道記念碑



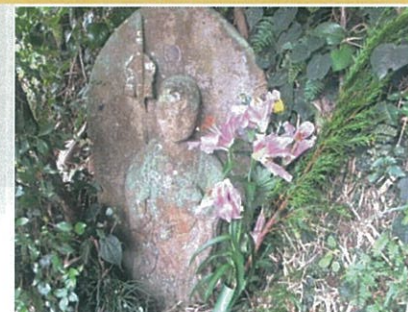
⑭トキワカワゴケソウ



⑬高峰山の猫城跡



⑫重田寺跡の地蔵尊像



⑪興玉神社



興玉神社の狛犬

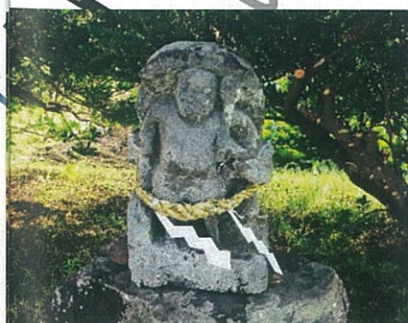


⑩九玉小学校



初代岩切嘉之助校長顕彰碑

⑦御領の田の神様



⑧木之元の大日如来石碑



⑨廣大寺跡の地蔵尊像



九玉小学校6年生 10年後のわたしへ



安藤 妃夏

10年後のわたしは、大学に行って勉強をしていると思います。でも、合格できるか、しっかり人ぐらしをできているか心配です。だから、中学、高校、みんなと楽しみなから勉強をしていきたいです。もしかしらうそうならないかもしれないけど、楽しいと思えることがあったらいいです。



梅井 夏音

10年後のぼくは、大学をがんばっているのかなと思います。10年後はコロナがなくなったりいろいろと平和なのでしょう。バイトをしながらお金をかせいでいるかもしれないですね。10年後のぼくできるだけがんばってください。おいしい料理をがんばってください。

10年後ぼくはプロ野球選手になっていると思う。18オでどこかの球団からドラフトで選ばれる。その選ばれる球団でもとてもいい結果を残していると思う。打率1割以上、打点80以上、ホームラン数は30本以上を目指してがんばっていると思う。



初蒔き

地域学校
協働活動



田植え



稲刈り

～2023.3 卒業生から～



坂元 咲心

10年後の自分へ
10年後の私は、人のやくに立つ・人のあこがれになる、仕事をしているだろう。そのために、日頃みんなの手伝いや、みんながよろこぶことをしているだろう。10年後の私は、楽しく笑っている日々をおくっているだろう。



浜田 琉希

10年後ぼくは、人のやくにたてる仕事についていると思う。どんな国に行っても人のやくにたてる仕事についていたら、うれしいです。どんな仕事についているかわからないけど、がんばってください。



脱穀

～御領どろんこ
米づくり～

ぼくは、10年後プロ野球選手になっているとおもいます。そのため、日々の食生活を見直して、練習をします。ピッチングやバッティングなどたくさん練習をして絶対にプロ野球選手になっていると思います。プロになれたらたくさん練習したいです。がんばってください。

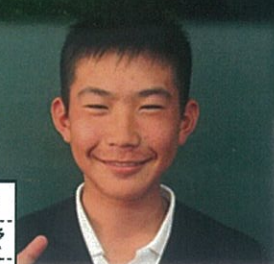
10年後ぼくはかん護士になっていると思います。そして、いろいろな人の役に立ちたいです。そのため、いりょう関係の本を売ったり、たくさん勉強をしたりして、矢張り身をにつけたいです。自分の夢に向かって努力していきたいです。これからもがんばってかん護士になりたいです。



しめ縄作り



餅つき



中村 旺志郎



福留 貴翔

ささげおこわで

ふれあいウォーキング

～御領で暮らし

御領を楽しむ人々～

ささげの花

のんびり

昼寝をする猫のように

季節の香りを味わいながら

あなたも 歩いてみませんか



公民館特性のささげおこわ

Me too



木漏れ日の中を山頂へ

手作りのユニーク道標



用水路の清き流れ



耕作放棄地を活用したそば作り

もうすこし
ねかせて



あちこちに石垣も見られる

-12-

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで、世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。2030年までに達成すべき目標を17項目にまとめています。御領地区ではどんなことに取り組めるのか、具体的に考えていきましょう。

つくって・かせぐ



人口減少と高齢化により耕作されなくなった田畑が増加しています。食料自給率を増やし貧困や飢餓をなくすには農業は欠かせません。農業には安全な水も不可欠です。これからアグリ活動には、バイオエネルギーの開発やスマート農業など若者のアイデアを活かしていく必要があります。先人たちが育ててきた南薩の肥沃な大地を後世につなぎ、御領のアグリ活動を継承していくには「つくって・かせぐ」活動が必要なのです。

みんなで・まもる



私たちは自治会や公民館の活動を通して老若男女が協力して地域協働の場をつくってきました。働くことを通じて人々が協力し支え合ってきたのです。しかし、人口が減少し若者が少ない社会では、これまでの自治活動は継続していけません。そこで、これまでの活動を見直し、縮小すべきは縮小し、改善すべきは改善する勇気をもつ必要があります。それが「みんなで・まもる」活動なのです。

つたえて・つなぐ



気候変動や環境の変化を守る活動は住民だけでは限界があります。海や山、田畑が今どきのようになっているのか、みんなでどうしていこうとしているのかを広く知ってもらうことが大切です。御領の現状を情報発信し、人々が協力して地球を守る活動へとつなげていくのが「つたえて・つなぐ」活動なのです。



-13-



編集後記

少子高齢化、人口減少など漠然と頭ではわかっていても、何から始めたらよいか分からない問題について、熱い御領愛を持つ鶴田館長の呼びかけに老若(?)男女ユニークなメンバーが集まり、2年間御領の未来について語り会いました。

未来を語る会議は楽しく毎回活発な意見が飛び交い、同時に新しい取組に対する実践も始めるなど、発想や行動力に驚かされるものばかりでした。

私は今まで御領について深く考えたことはありませんでしたが、メンバーやゲストの方々からたくさん話を聞くことができ、素晴らしい地域である事を知り、後世に伝えたいと思うようになりました。

そして、今回『御領未来づくり会議』による冊子が出来上がりました。

「つくって・かせぐ」「みんなで・まもる」「つたえて・つなぐ」を3つの柱として、アグリクラブ構想を提案しています。

是非手に取っていただき興味をもっていただけたら嬉しく思います。

この素晴らしい御領がみなさんによって10年後、その先も永続しますことを切に願い、私自身も取り組んでいきたいと思っています。

最後に御領に向き合うきっかけを頂いた御領地区公民館鶴田館長、松窪書記さん、南九州市まちづくり推進課齋藤さん、吉本さんに心からお礼申し上げます。

上村 健太郎



御領未来づくり10年計画

2023～2032

編集 御領未来づくり会議
協力 南九州市まちづくり推進課
集落支援員

デザイン 齋藤 博・吉本綾乃
発行 御領地区公民館

〒891-0703

鹿児島県南九州市頰娃町御領670番地

TEL&Fax 0993-36-0016

